



毛利 昌平

H22年採用・薬剤師

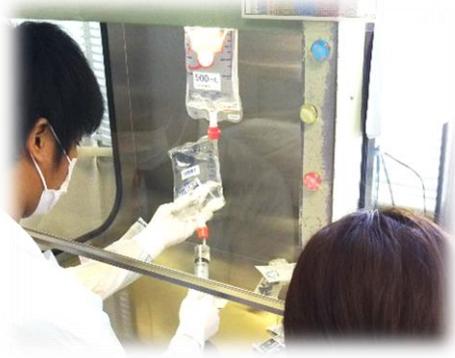
【配属歴】

- H22.5.1～ 健康福祉子ども局食品保健課
- H27.4.1～ 病院局熊本市市民病院医療技術部薬剤課



現在の担当業務

処方せんに基づく調剤や、他職種、患者さまに対する薬剤の情報提供、NICUで用いる輸液や、抗がん薬の無菌調製等の業務を行っています。また、院内委員会での活動も行っています



《ある一日の業務スケジュール》

- 8：30 始業
処方せん調剤、薬剤情報提供
- 12：00 昼休憩
- 13：00 処方せん調剤
- 15：00 無菌調製
- 15：30 病棟業務
- 16：00 院内委員会への参加
- 17：15 終業

仕事のやりがい等

病院では、医師に処方方の根拠を直接聞けたり、カルテで治療方針を確認したり、看護師など、他職種のスタッフとも薬のサポートに関わることができるのが魅力ですが、同時に責任も強く感じます。今後、自分の得意分野、専門分野を持った薬剤師になりたいと思っています。

職場の雰囲気

多くの薬剤師が薬の専門職として業務を行っており、外来や病棟でチーム医療の一員として協働しています。また、最新の薬物療法を学ぶため、積極的に学会等に参加し、情報収集や情報発信を行っています。業務で困ったことがあればすぐ相談でき、みんなで協力しながら業務を進めています。

熊本市職員を志望した理由

熊本市の中核を担う総合病院のひとつである熊本市市民病院で病院薬剤師として、様々な経験ができるほか、保健所等での行政業務や、環境総合センターでの検査業務など、多様な業務を経験できる点に魅力を感じたため、熊本市職員を志望しました。

熊本市職員を志望する方へのメッセージ

実際に保健所と病院での二つの業務を経験しましたが、どちらの分野でも薬剤師が活躍しており、とてもやりがいを感じることができると思います。